

# 健康アドバイス



薬師寺 公一 医師  
(吉備医師会から)

皆さんは、どれくらいの頻度でがん検診を受けていますか。親しい人や芸能人ががんで亡くなったことをきっかけにがん検診を受ける人は多いですが、定期的に受ける人は少ないです。

がん検診の目的は、がんで亡くなることを防ぐものです。症状を感じてから受診すると、がんが進行している可能性があり、治すことができない場合もあり

## 今月のテーマ **がん検診**

### 定期的に受診をしましょう

ます。症状のない段階から、定期的に受診することを心掛けましょう。

がん検診を受けるメリットは、早期に発見し治療ができることです。検診では、将来がんになるポリープのような、がんになる前の病変が発見されることがあり、治療することでがんになるのを防ぐことができます。

一方、がんが見つかりにくい場所や形だったり、出来始めだ



ったりすると、発見できない場合もあります。しかし、一度のがん検診で病変が指摘されなくても、翌年には見つかることがあります。がんを発見する可能性を高めるためにも、単発の受診で終わらせず、毎回がん検診を受けることが大切です。

生涯のうちのがんにかかる可能性は、2人に1人だといわれていますが、早期発見と早期治療によって、治せるがんは多くあります。周りの大切な人たちを悲しませないために、健康で長生きできるよう、定期的ながん検診を受けましょう。

問い合わせ 健康医療課健康増進係 (☎②8259)

# 安全・安心

## 総社署からのすすめ

7月の終わりから、子どもは夏休み期間に入ります。長い休みになると、学校や勉強から解放されて気が緩み、遊び癖が付いたり、不規則な生活になったりしがちです。深夜徘徊や喫煙などの不良行為、万引きや乗り物盗の非行に走りやすくなる時期でもあります。

家庭においては、日ごろから子どもと何でも話し合える雰囲気づくりに気を配り、生活態度

### 子どもの非行・犯罪被害防止

や持ち物などにも関心をもちましょう。

また、インターネットの危険性をよく知らないまま、出会い系サイトやSNSサイトのコミュニティサイトを利用することによって、性犯罪などの被害に遭う恐れがあります。子どもにとって有害な情報サイトを閲覧できなくするフィルタリングサービスを利用し、有害情報を遮断しましょう。

ほかにも、親の目の届く所で使用する、夜遅くまで使用しない、インターネット上に個人情報を書き込まないなど、子どもがインターネットを使用する際

の家庭内でのルールを作りましょう。そして何より、大人がルールやマナーを守ることを実践していきましょう。

子どもは大人の一举一動を見えています。健全な育成のために、大人が良い手本となるよう心掛けましょう。

子どもを非行や犯罪被害から守るために、家庭や学校、地域が一体となって協力し合い、犯罪が起きにくい社会づくりをしていきましょう。



監修・問い合わせ 総社警察署 (☎④0110)

# 部長マニフェスト

事業項目	数値目標
 野村 周弘 総合政策部長	①人口7万人を目指した取り組み 年度末人口6万9000人 ②空き家の利活用の推進 空き家への入居件数20件 ③ふるさと納税の推進 総社産米寄付俵数2万5000俵
 難波 敏文 総務部長	①計画的な財政運営 基金残高の確保115億円(一般会計) ②市税の納期内納付 納期内納付率93.5% ③人材育成の推進 職員研修実施回数20回
 新谷 秀樹 民生生活部長	①そうじゃ吉備路マラソンの推進 参加者数2万5000人以上 ②『市民提案型事業』制度の活用による、市民参加型のまちづくりを推進 市民提案型事業応募総数20件以上 ③交通安全対策の推進 交通安全教室への参加者数1万2000人
 平野 悦子 保健福祉部長	①“歩得”健康商品券参加者の歩数増加 参加者の平均歩数が4月平均歩数よりプラス2000歩 ②A型・B型事業所の経営改善・販路拡大 給与・工賃が平成29年の県平均以上 ③高齢者が元気で生きがいをもって活躍するまちづくりを推進 「そうじゃ60歳からの人生設計所」を通じた就職者数・創業者数200人
 中田 暢彦 産業部長	①そうじゃ地・食べ事業の推進 学校給食食材の地産地消率40% ②企業立地の推進 企業の立地件数2社 ③魅力ある観光情報の発信 Instagram「#吉備路インスタ部」投稿数2万
 林 圭一 建設部長	①吉備線のLRT化と鉄道駅周辺まちづくり 意見交換会50回実施 ②事故防止対策による安全・安心なまちづくり 転落防止柵や自発光式道路反射鎮設置などの対策延長4000m ③地元要望事業の推進 地元要望事業の実施600件
 川原 玲子 環境水道部長	①ごみ量の減量 ごみ量前年比1%減 ②安全な水の安定供給 耐震管取替延長4700m ③水洗化の向上 水洗化率91.9%
 服部 浩二 教育部長	①通学路の安全の確保 改善要望のあった箇所の施工数を前年度(H29)の2倍に ②待機児童ゼロの維持 保育士登録による新規保育士就職者15人 ③文化芸術活動に接する機会の拡充 総社吉備路文化館の入館者8000人以上
 中山 利典 消防長	①高齢者家庭の防火対策 訪問による防火診断を200世帯実施 ②女性消防団員の活躍推進 女性団員新規入団12人以上 ③応急手当の普及啓発 救命講習会参加者小学生から大学生まで600人

各部長が年間をとおして取り組む事業の数値目標を設定しました。  
問い合わせ 秘書室 (☎④8215)